



事業名	～「港区 AI 元年」加速～ AI-OCR を導入し、業務の効率化を図ります！
-----	---

ここがポイント	最新の業務自動化ツール RPA の導入を進めるとともに、AI (人工知能) を活用した先進的な文字読み取り機能を導入します。	事業費	14,628 千円
---------	--	-----	-----------

区は、「区民サービスの向上」、「業務効率化による働きやすい職場づくり」を推進するため、「業務自動化ツール (RPA) ※」や「AI」など自治体最先端の ICT の活用に取り組んでいます。今回新たに、RPA が処理する**申請書等の元データを「AI-OCR」が読み取り**、さらに人の作業を自動化させて事務の効率化を図ります。(平成 30 年 9 月から導入予定)

AI-OCR の導入は 23 区初の取り組みです。
※RPA : 人がパソコンを使用して手で行う作業をソフトウェアが自動で代行

「AI-OCR」導入の具体的な取組内容

「AI-OCR」の特徴

手書きで記載される文字を読み取り、テキストデータとして変換する技術に「**光学的文字認識 (OCR)**」があります。
漢字・ひらがな・カタカナ・数字など多くの種類の文字がある日本語では、手書き文字の OCR の認識率は 50～70% となっています。

人工知能 (AI) を活用した最新技術の「AI-OCR」は、文字認識技術と機械学習により一般の OCR と比べ高い認識精度 (※) です。区では手書き文字データを AI に学習させ続けて**更に精度を高め**、事務の効率化に努めます。

(※) 今回導入するアリスマー (Arithmer) 社製の AI-OCR の認識率は、導入時は約 9 割です。

導入する事業

区のコミュニティバス「ちいばす」の無料乗車券 (妊産婦、身体障害者、70 歳以上の高齢者等) の申請業務において、利用者から受付けた「港区コミュニティバス乗車券発行申請書」のシステムへの入力に AI-OCR を導入します。

AI-OCR で読み取ったデータは RPA で自動処理します。
AI-OCR と RPA の活用により、年間 900 時間程度の業務量削減が見込めます。

```

graph LR
    A[手書き申請書を読み込む] --> B[文字認識 AI-OCR 処理]
    B --> C[テキストデータに変換]
    C --> D[システムに自動入力]
    
```

Handwritten application form (あいう) → AI-OCR (あいう) → Text data (あいう) → RPA → System input

問合せ	課長	情報政策課 若杉
	☎	03-3578-2060 (直通)
	係長	情報政策課 ICT 推進担当 皆川
	☎	03-3578-2855 (直通)